

風しん抗体検査（無料）のながれ

（熊本市ホームページからも確認できます→）



① 申込み

▼申込書に必要事項を記載の上、熊本市保健所 感染症対策課へ郵送・FAX・電子メール・窓口来所によりお申込み下さい。

▼申込書設置場所；熊本市保健所 感染症対策課、各区役所保健子ども課
※市役所ホームページからもダウンロードできます。

【申込先】 熊本市保健所 感染症対策課

▼住所：〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1-1

▼FAX：096-371-5172

▼メール：kansenshoutaisaku@city.kumamoto.lg.jp

※メールで申し込む場合は、記載後の申込書（PDF）を添付してください

② 受診券などの送付

▼対象者条件を満たす場合に、熊本市保健所 感染症対策課より受診券を発行します。

- ・郵送・FAX・メールでお申込みの方：受診券を含む検査関係書類を郵送いたします。
- ・窓口でお申込みの方：その場で受診券を含む検査関係書類をお渡しします。

③ 医療機関受診（抗体検査）

▼受診券と同封の、検査実施医療機関一覧に記載のある医療機関を受診してください。

▼予約が必要な場合もありますので、事前に医療機関にお問い合わせください。

※受診時に健康保険証、免許証など住所地とお名前がわかるものと、②で送付されたすべての資料をご持参ください。

※注 受診券に記載してある有効期限までに受診してください。

④ 結果送付

▼受診した医療機関から、郵送または手渡しにて結果通知があります。

※風しん抗体検査の結果、抗体価が陰性または低かった場合は、感染予防が十分ではありません。確実な予防のためには、予防接種を推奨します。

※結果送付後、ご不明なことがありましたら、熊本市保健所感染症対策課

☎096-364-3189 までお問い合わせください。

風しん抗体検査（無料）について

熊本市では、先天性風しん症候群から赤ちゃんを守るために、妊娠を希望する女性やパートナー及び同居者を対象に、風しん抗体検査（風しんに対する免疫（抗体）を持っているかどうか調べる血液検査）を無料で実施しています。

風しんとは？

風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。潜伏期間は2～3週間（平均16～18日）で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。ウイルスに感染しても明らかな症状がでることがないまま免疫ができてしまう（不顕性感染）人が15～30%程度います。通常は自然に治りますが、まれに脳炎になったり、血小板という血液の成分が減少して、皮膚に紫斑が現れる人もいます。

風しんに感染すると、何が問題ですか？

妊娠した女性（とくに妊娠20週頃まで）が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に奇形が生じる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの障がい（先天性風しん症候群）を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

また、風しんは、現在は定期接種となり多くの子どもたちが予防接種を受けていますが、過去の予防接種制度の変遷により予防接種率が低い世代（20～40代の男性）があり、この世代がH25年の風しん流行の中心となりました。この世代は、子育て世代でもあるため、風しんに感染した男性から妊婦に感染し、先天性風しん症候群が発生することが危惧されています。

どのような人が無料検査の対象ですか？

熊本市に住民票のある方のうち、以下1)～3)のいずれかに該当される方

- 1) 妊娠を希望されている女性
- 2) 妊娠を希望されている女性のパートナーなどの同居者
- 3) 風しん抗体価が低い妊婦のパートナーなどの同居者

ただし、下記の①から③にあてはまる方は無料検査の対象にはなりません。

- ①風しんの予防接種を受けたことがある方（MRワクチン等）
- ②風しん抗体検査を受けたことがある方（妊婦検診等）
- ③風しんに感染したことがある方



検査の受け方は？

裏面の申し込みの流れを参考に、感染症対策課へお申し込み下さい。

風しん抗体検査の結果、風しん抗体価が陰性または低かった場合は、感染の予防が十分ではありません。確実な予防のためには、予防接種を推奨します。予防接種は有料ですが、費用の一部助成があります。詳しくは、熊本市保健所 感染症対策課までお問い合わせください。